朗読グループそよかぜ15周年

大倉カフェ　ふれあい朗読会



～生きる～

身近でありながら、壮大であり、一生をかけて向かい合う
生きるということは私たちの永遠のテーマであり続ける
いま、この一瞬、ひとときが連なり、かけがえのない時を紡いでいく
時に残酷で非情で、時に温かく穏やかでありながら

プログラム

【第一部】　9時50分～

群読　がってん音頭　　全員

エッセイ「唯我独尊」　向田　邦子　作　　橋下　雄美

詩　四編
騙されるな　ビートたけし　作
こんなに　たしかに　まど・みちお　作　　近藤　登代子
雑草　なかの　ひろ　作　　高橋　ひろ子
祝婚歌　吉野　弘　作　　橋下　雄美

小説　とりつくしま　より
「マッサージ」　東　直子　作　　本田　憲行

池田　逸夫
高橋　ひろ子
本田　憲行

〈休　憩〉

【第二部】　10時45分～

平家物語より「祇園精舎」「祇王」　　池田　逸夫
白石　陽子

エッセイ「心の準備」　岸本　佐知子　作　　近藤　登代子

小説「蜜柑」　芥川　龍之介　作　　岡口　米子

詩　生きる　谷川　俊太郎　作　　全員

指導　北里　真弓

本日は、朗読会にお越しいただいて、ありがとうございました。
関係のみなさまのご協力により、十五周年記念の朗読会ができましたこと、深く感謝申し上げます。
本日のプログラムはいかがでしたでしょうか。
もし朗読に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、一緒にやってみませんか。是非左記までご連絡下さい。

朗読グループそよかぜ
（問合せ　０９０　９９１０　９６３６　高橋）